



新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため全国に緊急事態宣言発令！ 臨時休業を4月22日(水)～5月6日(水)まで実施します！

4月16日(木)夜、新型コロナウイルス感染症について、国は緊急事態宣言の対象地域を全国に拡大しました。また、この緊急事態宣言の中では、新型コロナウイルス感染症対策については、国内で感染者が増加する中、集団による感染の拡大を防止することが極めて重要とされ、全国都道府県が一致協力して徹底した対策を講じていく必要があるとされています。

そこで、この国が出した全国緊急事態宣言を受けて、4月17日(金)の夜、長崎県、そして、大村市から感染拡大の防止措置が発表され、大村中学校においても4月22日(水)～5月6日(水)の期間において、2回目の臨時休業を実施することが決定されたのです。

これまで中学校では、コロナウィルス感染拡大防止のため行事の内容変更や中止・延期等もたくさんありましたが、生徒と先生方の頑張りや工夫、そして保護者様のご理解とご協力のもと、厳しい状況にありながらも、令和2年度が何とか順調に滑り出し、円滑な生徒達の学校生活が営まれていただけに、この臨時休業はとてつもない残念なものでした。

また、部活動においても、ようやく1年生の皆さんが、新入部員として目をキラキラさせて活動に参加はじめ、2・3年生の生徒達も先輩として誇らしげに頑張っていただけに、この臨時休業による部活動停止も、生徒、先生方にとってとても辛いものになりました。

しかし、この臨時休業は、新型コロナウイルスから自分の命、家族の命、そして仲間、先生方の命を守るために、全国全ての地域の方々と手を取り合っって一斉に行う措置なのです。確かに、時に、窮屈な空間、厳しい時間の中で生活することを余儀なくされる臨時休業だとは思いますが、もう一度、この臨時休業の目的・意義をしっかりと受け止めながら、この臨時休業の15日間を生徒の皆さんや保護者の皆様と共に、前向きに過ごしていければと思います。

明けない夜はないはず。当たり前前の生活が、当たり前前に過ごせる幸せな時間が再び訪れることを固く信じて、共に頑張っていきましょう。チーム大中 思いを力に……。



臨時休業中の生徒への指導・支援を再確認させていただきます。



①外出について

感染症の蔓延を防止するための臨時休業措置です。この趣旨をご家庭でも再確認していただき、各家庭における感染予防対策強化と不要不急の外出を自粛するよう、ご協力のほどよろしくお祈りします。

②学習について

確かに学校の授業がないことでお子様や保護者の皆様には、ご心配をおかけしていますが、「家庭学習の習慣化に向けての大切な時間」と捉えていただき、お子様の主体的な学習を促していただければ幸いです。温かい励ましのお声をよろしくお願いいたします。

【学校からの手立て・支援】

○各教科担当からワークやプリント等で家庭学習の課題が指示されています。計画的な家庭学習を頑張らせてください。

○大村市が提供しているデジタル学習コンテンツ「eライブラリアドバンス」のIDとパスワード、学習方法の文書を、生徒全員へ配布しています。お子様の能力や興味・関心に基づく主体的な学習に大変役立ちます。ご活用ほど、よろしくお祈りします。

○長崎県教育庁から発出されたテレビやインターネットを活用した学習についての文書を生徒全員へ配付しています。ご活用ほど、よろしくお祈りします。

③生活について

起床・就寝時刻や日中に中の時間割を決めさせるなど、規則正しいリズムで生活できるようご家庭でのサポートをよろしくお願いいたします。

また、この期間は、お子様の家族の一員としての認識を高める意義ある時間になると思います。家庭での役割や家事等を積極的に与えていただき、自立へのスキルUPを図っていただければと思います。またお子様方には、学校の方から以下の点について指導を行っています。ご家庭での見守りとご協力をよろしくお願いいたします。

○毎日、検温して「健康観察記録表」に記入しよう。→5月7日(木)に提出

○適度な運動を行う時間を自分で工夫して作る。

○お子様自身や同居の家族が新型コロナウイルス感染症を発症した場合、又は濃厚接触者となる場合は、速やかに学校までご連絡ください。

本日発行の「保健だより」特別号を是非お読み下さい！

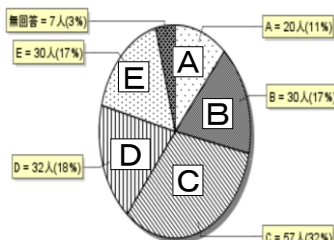
臨時休業期間の生徒達の実態生の声が記載されています！



今回の臨時休業に向けて、養護教諭 井田いくみより、「前回の臨時休業と春休み期間中の家庭での過ごし方」について、全生徒を対象にアンケートを実施し、集計した結果が、「保健だより」特別号として発出されました。
そこには、休業中の本校生徒の実態が明らかになっています。是非一読いただき、明日から始まる二度目の臨時休業に向けて、健やかな家庭生活のためにお役立て下さい。よろしくお願いいたします。



養護教諭からの大切なお知らせです！



休業期間中のメディアの使用時間について (3年生)

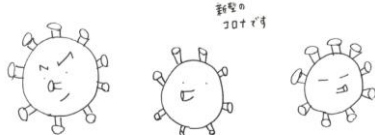
- A 一日中 20人(11%)
- B 4～5時間増えた 30人(17%)
- C 2～3時間増えた 57人(32%)
- D 1時間以上増えた 32人(18%)
- E 変化なかった 30人(17%)

Q 休業期間中 困ったこと、辛かったことがありましたか？


- 外にも出られず、スポーツや友達と遊べず、うずうずした。
- 友達と会うことができなくて寂しかった、辛かった。
- 友達と遊べなかったこと。
- 話し相手がいなくて暇だった、退屈だった。
- ストレスで甘いものを食べすぎて、肌が荒れた。

新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!

～負のスパイラルを断ち切るために～



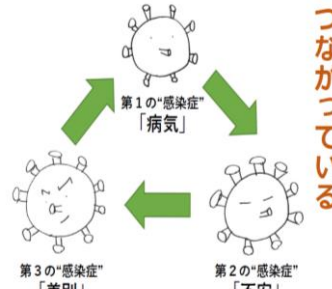
新型コロナウイルスによる感染が流行しています。



実はこのウイルスが怖いのは、「3つの“感染症”」という顔があることです。

知らず知らずのうちに私たちが影響を受けていることをみなさんにご存知ですか？

3つの“感染症”はつながっている



ひとりひとりが気を付けないと、ワタシはこうやって力をつけていくよ！

第1の“感染症”は病気そのものです

このウイルスは、感染者との接触でうつることがわかっています。

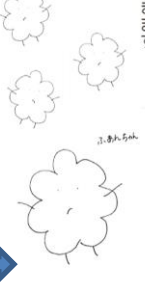
感染すると、風邪症状や重症化して肺炎を引き起こすことがあります。



第2の“感染症”は不安と恐れです

このウイルスは見えません。ワクチンや薬もまだ開発されていません。わからないことが多いので、私たちは強い不安や恐れを感じ、ふりまわされてしまうことがあります。

それらは私たちの心の中でふくらみ、気づく力・聴く力・自分を支える力を弱め、隣り間に人から人へ伝染していきます。



第3の“感染症”は嫌悪・偏見・差別です

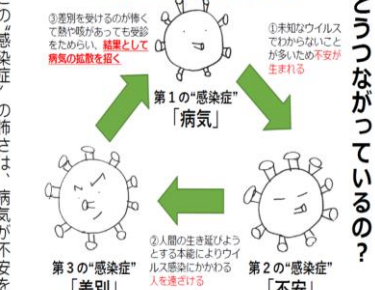
不安や恐れは人間の生き延びようとする本能を刺激します。

そして、ウイルス感染にかかわる人や対象を、日常生活から遠ざけたり、差別するなど、人と人の信頼関係や社会のつながりが壊されてしまいます。



3つの“感染症”は どうつながっているの？

負のスパイラルで“感染症”が広がる



①未知なウイルスでわからないことが多い不安が生まれる

②人間の生き延びようとする本能によりウイルス感染にかかわる人を遠ざける

③差別を受けるのが怖くて熱や咳があっても受診をためらう。結果として病気の拡散を促す

④人間の生き延びようとする本能によりウイルス感染にかかわる人を遠ざける


皆さんも、ウイルスに関する悪い情報はかりに目に向いていたり、なにかとウイルスに結び付けて考えたりしていませんか？

「あの咳してる・・・コロナなんじゃない」「あの地域はコロナが流行っているからあそこ」のものを買うのはやめよう・・・

「勢があるけど怖いから黙ってよう・・・」

このように思い、行動することから“感染症”は広がっていきます。

これらの“感染症”をふせぐために、私たちはどのような工夫ができるでしょうか？



第1の“感染症”をふせぐために

1人1人が衛生行動を徹底しましょう。

- 「手洗い」
- 「咳エチケット」
- 「人混みを避ける」

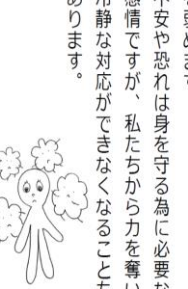
ウイルスに立ち向かうための行動を、自分のためだけでなく周りの人のためにもすることが大切です。



第2の“感染症”にふりまわされないために

不安や恐れは私たちの気づく力・聴く力・自分を支える力を弱めます。

不安や恐れは身を守る為に必要な感情ですが、私たちが力を奪い、冷静な対応ができなくなることもあります。




第3の“感染症”をふせぐために

不安を煽ることは病気に対する偏見や差別を強めます。

「確かな情報」を拡めましょう。

差別的な言動に同調しないようにしましょう。



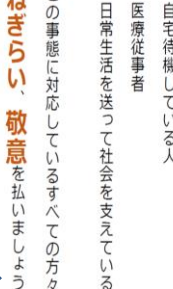
第3の“感染症”をふせぐために

みなさんそれぞれの場所で感染を拡大しないように頑張っています。

- 小さな子どもがいる家庭
- 高齢者
- 治療を受けている人とその家族
- 自宅待機している人
- 医療従事者

日常生活を送って社会を支えている人

この事態に対応しているすべての方々を、**ねぎらい、敬意を払いましょう。**



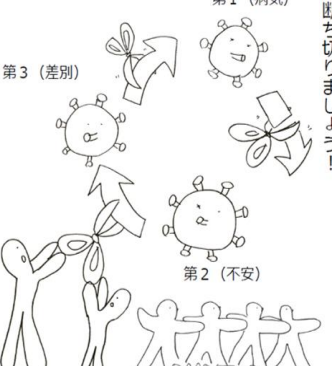
まとめ

3つの感染症をみんんで乗り越えていくために

このように、新型コロナウイルスは、3つの“感染症”という顔を持って、私たちの生活に影響を及ぼします。

このウイルスとの戦いは、長期戦になるかもしれません。

それぞれの立場でできることを行い、みんなが一つになって負のスパイラルを断ち切りましょう!



ONE TEAM

No one can tell what happen tomorrow.
All we can is to do our best for today.
明日何が起こるか誰にもわからない。
私たちができることは今日ベストを尽くすことだ!

これは、3年3組 渡邊恭子先生発行の学級通信に記載されていた素敵言葉です。私たちは、今、コロナウイルスという見えぬ敵との戦いの中にいます。確かに、明日はどのような局面になるのか誰もわかりません。しかし、私たちが今できることを一つ一つやり遂げていけば、必ず光は指してくるはず。その光を信じて、頑張っていきましょう。